

博士論文概要 「環境情報からのメッセージ」環境イノベーションマネジメント専攻

名前	指導教員	論題	論文要約
藤原 ヨシ子	安藤 孝敏	多職種連携から見えてきたソーシャルワーカーが担う「関係性の中での自己決定支援」～インタビュー調査での自己決定支援の特徴からの考察～	高齢者が自らの意思に基づいた生き方ができるよう、自己決定を尊重する体制が求められている。本研究は、自己決定支援の支援構造を明らかにしながら、再考することを目的に、高齢者が生活する三つの施設種別のソーシャルワーカーへインタビュー調査を行った。その結果、『コミュニティの中での「自己決定」支援』あるいは『関係性の中での「自己決定」支援』という新たな概念の認識へ転換すべきではないかとの提起を行った。
木村 由香	安藤 孝敏	高齢者の終活への取り組みとサクセスフル・エイジング	本研究の目的は、主に都市部高齢者にとって終活がどのように捉えられ取り組まれているのかを明らかとし、サクセスフル・エイジングに資する終活への支援のあり方を提案することにある。結果、終活が特に独居高齢者の生活満足度及び未来展望に影響を及ぼすことが明らかとなった。また、不安を煽らないこと、物の片付けや財産整理をきっかけとして終活を促すこと、終活講座を活用する支援が重要であることがわかった。

山川伊津子	安藤 孝敏	盲導犬と暮らすことによる視覚障害者の生活と意識の変容－機能的、心理的、社会的支援の視点から－	本論文では視覚障害者の屋外歩行手段の一つである盲導犬の機能的、心理的、社会的支援を通し、使用者の変容とそのプロセスを検討した。研究 1 では、白杖使用者に比較して一部ではあるが盲導犬使用者の QOL の高さを認めた。研究 2 と 3 では中途視覚障害者が盲導犬と暮らすことにより生活と意識を変容させ、社会のなかで生きなおす姿が確認できた。盲導犬使用の課題は残るが、「生きた自助具」である盲導犬使用の可能性を示唆した。
-------	-------	------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------